

VII — 2 林野海岸

(1) 美々津海岸 【日向市】



礫質海岸の
潮害防備林
【2003. 11. 24】

礫質海岸の織り成す風景1990年代、この地域は日向・美々津県立自然公園の風光明媚な区域であった。潮害防備林は、礫質地層に植栽されたウバメガシの群落。



国土面積を
縮小する護岸工
【2010. 1. 19】

宮崎の海岸沿線は、自然の植生で守られてきた。この豊かな地層に、擁壁工を施工し、先人の残した潮害防備林まで消滅させている。



礫質海岸に
施工された
コンクリート構造物
【2010. 5. 12】

礫質地層の海岸は、礫間の空隙に、消波機能を有し波浪を抑制する。その貴重な礫質地層を流出させる森林保全の擁壁工法。

(2) 日之出海岸 【新富町】



砂浜流出と
連鎖的災害
【2003.11.19】

砂浜の流出は、沿岸の魚介類の減少、河口の塩水化、潮害防備林の枯渇、背後の田畠の潮害、中位段丘堆積物の法面崩壊等の連鎖的災害を発生させる。



侵食前の
前浜砂丘
【2005.10.6】

平成3~5年の海岸月間では、「ふるさとの海岸を探勝する会」を開催した。約5kmの探勝海浜は、幅100mの砂浜であった。



前浜砂丘の
侵食状況
【2007.11.19】

僅か2年後の侵食を受けた海浜状況。砂浜流出を示す浜崖ラインは、構造物の法線に沿って、被害は拡大する。

(3) 大炊田浜海岸 【宮崎市】



浜崖発生による
排水処理施設の露出
【1992. 8. 9】

一つ瀬川河口から石崎浜に至る海浜は、西都・佐土原地域住民の海水浴場であった。
一つ瀬川右岸に、擁壁が設置されている。



砂浜流出の根源
となった擁壁
【2009. 11. 3】

砂浜の高さは、擁壁の天端まであった。
急速に侵食が始まり、基礎部まで露出した農地災害施設。



構造物設置により
露出した菅渠
【2009. 11. 3】

砂浜流出を拡大した荒廃林地復旧施設。
沿岸流の流れを早めるコンクリート施設を設置。

(4) 石崎浜海岸 【宮崎市】



浜崖発生の
潮害防備保安林
【2003. 10. 28】

浜崖が発生している
が、前浜には砂浜が
堆積している。



自然海浜に
着工した治山事業
の緩傾斜護岸工
【2004. 9. 14】

工事施工後、砂浜が
急速に流出した海浜。



砂丘の復元を
放棄した荒廃
林地災害復旧工事
【2010. 5. 16】

宮崎海岸の砂浜流出
に影響を及ぼす原因
工法。
護岸背後の保安林が
広範囲で被害を受け
ている。

2010. 5. 16

(5) 明神山海岸 【宮崎市】



緩傾斜護岸に
隣接する擁壁
施工前の状況
【2005. 1. 14】

護岸施工により砂浜が
さらに流出し、波浪の
影響を受け、保安林の
松が流出、枯損した。



砂浜流出を
促進した擁壁工
【2010. 1. 14】

この擁壁の設置によ
り、松林の幅員が約
20m縮小された。
砂浜の流出が拡大し、
緊急を要する国土保
全対策。



宮崎海岸最大の
砂浜流出促進工法
【2010. 5. 16】

工事施工後、5年で
擁壁基礎部まで流出
した砂浜。
擁壁前面の砂浜復元
が困難になった工法。

2010. 5. 16

青島海岸

【宮崎市】



青島再生が期待
される砂浜復元
【2010. 1. 14】

青島は、1960年代
我が国を代表する
観光地であった。
青島は、江ノ島と
ともに陸繫島地形
として、砂浜創設
が期待される。



擁壁と化した
ホテルの建設
【2010. 1. 14】

青島海水浴場の砂
浜流出の原因にな
った主軸を南北に
する構造物。
砂を搬入する漂砂
の流れを疎外した
ことにより流出し
た砂浜。



植物園護岸設置から
始まった砂浜侵食
【2010. 5. 14】

植物園開園前年の
1996年までは、
砂の堆積高さは、
護岸管理道舗装面、
幅員は、隣接する
南側ホテル東海浜
に堆積する幅以上。